如法経塚〔男山の西にあり。桓武帝王城鎮護として西方に経王を収らる、此所を南岩蔵といふ〕心天橋〔志水の南天神森へ行く道にあり。夏の頃五月雨夕立に河水橋に溢るゆゑ此名あり、土人の口称なり〕美濃山〔志水の巽にあり。後鳥羽院の愛妃美濃局此所にすめり、待宵小侍従は此人の妹なり〕